

センタールーフ

工 法

重ね葺き

葺き替え

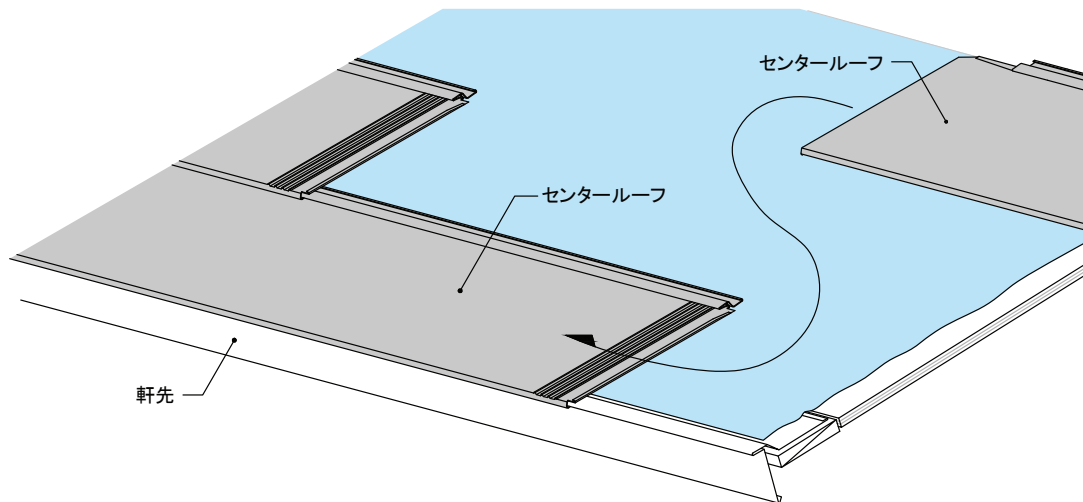
下 地

直葺きまたは耐水合板

既存または新規野地板

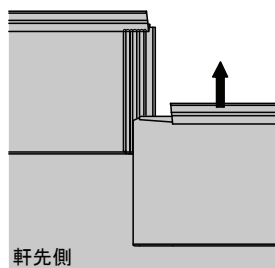
4) 本体のつなぎ方

- センタールーフ本体は左から右へ葺いていきます。また、本体どうしのつなぎは重ね合わせのみです。



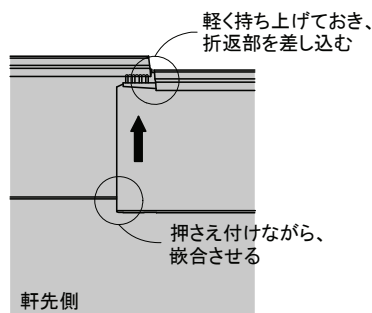
- つなぎの下になる本体を施工後、図1のように施工します。図1で施工できない場合は図2のように施工します。

図1



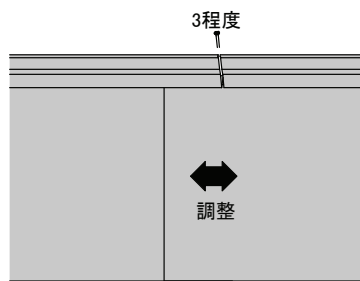
つなぎの上になる本体を下の本体にかぶせるようにスライドさせます。

図2



上になる本体の軒先側は嵌合できるように上から押さえ、釘打ち側は軽く持ち上げておき、一気に軒先側は嵌合させ、釘打ち側は上の本体の折り返し部を下の本体の折り返し部に差し込みます。

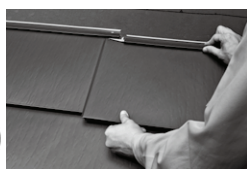
- 横暖ルーフS、横暖ルーフプレミアムSの横つなぎは、本体釘打部の左右隙間が3mm程度になるように調整して施工してください。



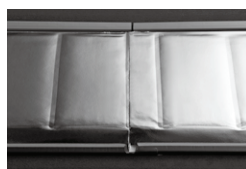
- 横暖ルーフαS、横暖ルーフαプレミアムSは左右の断熱材を付き合わせてつなぎ設計となっています。断熱材を付き合わせて施工してください。横暖ルーフと横暖ルーフαでは隙間寸法が異なります。



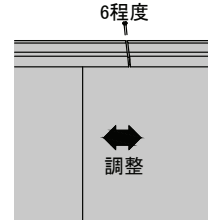
施工イメージ(近景)



施工イメージ(UP)



裏面イメージ



- 緩勾配で捨て板を使用する場合は、P121をご確認ください。